

年度	学年	教科等	指導案URL	資質能力	児童・生徒の姿	指導の具体
R4	小5	算数	⑨小学校指導案(算数・数学科).pdf	授業構想力	○一見面積を求めることができないような図形でもこれまでの既習を活かし、他者の意見をつなげて面積を求めることができた。	図形を重ねることで自然と児童は補助線を入れて考えることができるようになり、問題解決の糸口を掴むことができた。
R5	中1	美術	07_2_美術科学習指導案.pdf	授業構想力	○絵のようなデザインをしていた子が友達と交流することで自分のデザインを再考している姿が見られた。	グループ交流の前に「形のつながりが文様の中にあるか」という見る視点を提示している。
R6	複中	外国語活動	11_1_外国語活動学習指導案.pdf	授業構想力	○数・大きさなどの既習表現を使っている姿。	既習の表現を想起することができるような場の設定・Non-verbalのみでなく、言語表現にも意識を向けることができる中間指導
R5	小6	算数	03_2_算数科学習指導案.pdf	授業実践力	○作図方法を比較しながら、よりよい作図の仕方を考える姿	頂点と辺に焦点化させる問いかけを行った。
R5	小3	理科	04_1_理科学習指導案(小学校).pdf	授業実践力	●音を伝える媒質である「空気」というワードがなかなか出てこなかったこと。	風船電話の中の「空気」に着目できる手立てがもっと必要であった。(風船の中には空気があること・風船電話の使い方を考える支援)
R5	複高	道徳	11_特別の教科道徳学習指導案(小学校).pdf	授業実践力	○教師の問いかけについて考える。	児童の考え方に誤りが出たり、深まりを予見させたりするときに発問をする。
R4	小5	保健教育	【学 校 保 健】	授業実践力	○児童が情報検索のポイントに則って情報を検索することができていた。	情報検索のポイントの説明には、信頼できる情報源の例や児童に身近な「すり傷の手当方法」を例に挙げるなどの工夫をした。
R4	中2	保健教育	【学 校 保 健】	授業実践力	○お互いに肯定的なコミュニケーションを用いて活動し、全員が自分のストロングポイントを見つけることができた。	既習内容（プラスのストローク）を生徒と共有することにより、生徒が安心して自己開示しながら活動できる場を設定した。 より肯定的な視点で自己理解ができるよう、ワークシートの記入欄を増やす・指示文を修正するなど工夫した。
R5	小6	保健教育	13_1_保健教育学習指導案(小学校).pdf	授業実践力	●情報源の吟味および活用した情報の正確性の検証が行えなかった。	情報の正確性について既習の情報検索のポイントを振り返るだけでなく、具体的な例を出すべきであった。
R5	小4	社会	02_1_社会科学習指導案(小学校).pdf	授業分析・評価力	○広島県の観光産業について問題意識をもった振り返りが多く見られた。	振り返りの際に、本時の板書や資料をもとに、学習課題を意識できるようにする場面を設定した。
R5	中2	社会	02_3_社会科学習指導案(中学校).pdf	授業分析・評価力	○「広島県」や「広島市」、「ふるさと納税」について問題意識をもった振り返りが多く見られた。	振り返りの際に、本時の板書や資料をもとに、学習課題を意識できるようにする場面を設定した。
R5	小1	算数	03_1_算数科学習指導案.pdf	授業分析・評価力	○図をかくことの大切さを述べる姿	「本時の問題を解決できたのは何がよかったからなのか」と視点を絞って振り返った。
R6	小6	算数	03_2_算数科学習指導案.pdf	授業分析・評価力	○1／150の等身大モデルを基に対象を比べる。	ミニチュアフィギュアの視点に立たせたり、黒船と人形を俯瞰してみることができるようにすることで多様な見方を獲得することができた。
R4	中2	理科	⑬中学校指導案(理科).pdf	授業分析・評価力	○班ごとにホワイトボードを用いて現象について説明しようとしていた。	湿度を求めるために必要な要素に気づかせる声掛けを行った。
R4	複中	外国語活動	⑭小学校指導案(外国語活動・外国語科).pdf	授業分析・評価力	○児童の振り返りシートには、友達の発表のよいところについての気づき、また自分のパフォーマンスの改善について書くことができていた。	振り返りシートの項目の中に自身のパフォーマンスだけでなく、他者の発表に目を向けるような項目を設けることで、児童自身の振り返りが充実し、児童自身が次への課題をもつとともに、教員もそれらをもとに次時の授業へとつなげることができた。
R5	複中	外国語活動	10_1_外国語活動学習指導案.pdf	授業構想力・実践力	○本単元のターゲットセンテンスだけでなく、既習事項を用いてその場で質問を考え、やりとりする姿が見られた。	言語活動の目的や本時のめあてに立ち返ることで、児童の思考を促し、次の活動への必要性を引き出した。 教科横断的な内容など児童の答えたくなるような例を用い、デモンストレーションを行った。 既習事項を想起できるような教室環境作りを行った。

R6	複中	外国語活動	11-1 外国語活動学習指導案.pdf	授業構想力・実践力	○Do you like～?の表現だけでなく、What～do you like?など他のフレーズでもすぐに対応してやりとりしている。	既習事項の活用を促す中間評価および活動の指示
----	----	-------	-------------------------------------	-----------	--	------------------------